

【ニューヨーク＝本間 英士】米西部ユタ州のユタバレー大で10日、トランプ大統領に近い著名な保守系政治活動家、チャリー・カーク氏が講演。保守派若年層のオピニオ

米保守活動家撃たれ死亡  
カーク氏トランプ氏当選に貢献

維持管理が容易 古墳型樹木葬



1基5千人埋葬  
今年5月に高松市に完成した前方後円墳型墓は、墳丘の長さ約17・5m、1人用438区画、2人用1338区画、合祀墓を含め約5千人を埋葬できる。3世紀前半、中頃の古墳の形に「鏡・剣・勾玉」(三種の神器)の古墳のようになっている。

継承不要 令和の墓選び

日本古来の「前方後円墳」を現代風にアレンジした古墳型樹木葬が人気を集めている。大阪府内で14日に完成する古墳型墓は、販売初日で完売した。少子化や核家族化で墓の維持管理が難しくなり「墓じまい」を検討する人が増える中、墓の継承を考慮する必要のない樹木葬タイプの購入者が急増している。

トランプ氏は自身のS  
NSで「彼ほど米国の若者の心を持ち、深く理解していた人はいない。彼は誰からも愛され、尊敬

米メディアによると、カーク氏は18歳の時に保守系青年団体「ターニン・グ・ポイント・USA」を設立し、代表に就任。保守派若年層のオピニオ



が納められる予定だ。檀家義務はなく、継承者・管理費不要、宗教も不問で、費用は1人用は55万7500円、2人用が71万7500円、98万円、合祀墓は18万2千円(いずれも税込)。

大企業の製造業はプラス3・8だった。前回調査の4〜6月期でマイナ

景況感 2期ぶりプラス  
7〜9月 関税合意で懸念緩和

「終活」に関するサービスを提供する「鎌倉新書」(東京)が今年1月に行った調査では、購入した墓の種類は樹木葬が

48・5%で最多、一般墓(墓石型)が17・0%、納骨堂は16・1%、合祀墓・合葬墓は14・6%。樹木葬や納骨堂、合祀墓・合葬墓など継承を前提としない墓が主流だ。調査を開始した平成22年は一般墓が約9割だった